

2017年

夏

どうそ 満

議員活動報告



発行責任者 道祖 満

飯塚市 鯉田2525-44

TEL 25-3280・22-9323

つくります!
newしいづがライフ

飯塚市議会議員 どうそ 道祖 満

e-mail:m.douso@fmwu.or.jp

こぞの夏鳴きふるしてしほととぎす

それかあらぬか声の変わらぬ

(よみ人知らず)

皆様お元気ですか。6月に梅雨入りになりましたが、雨が降らず田植えが心配でしたが、自然はありがたいもので20日を過ぎて雨が降り出しました。

飯塚の山笠が終わるころには梅雨も明けると思いますが（皆様にこの議員活動報告が届く頃はもう夏になっていると思います。）梅雨明け前に大雨が降らない様に願って、この活動報告を書いています。

飯塚市議会では、5月18日から23日まで臨時市議会が開催され、正副議長の辞任に伴い新しく正副議長の選出が行われました。

また、6月定例会市議会が、6月9日から29日まで開催されました。

6月定例会市議会では、片峯市長が市長に就任して初めての施政方針を述べました。

また、片峯市長の就任後初めての市政に対する政策的な議案と予算案が審議されました。

わたしは、今定例会市議会では、「第2次飯塚市文化振興マスタープラン」に関連して一般質問を行いました。



(平成29年3月末で閉校した飯塚市立楽市小学校)

臨時市議会が開催されました。

新市庁舎で、平成 29 年 5 月 18 日から 23 日まで、臨時市議会が開催されました。

正副議長の辞職に伴い、新しい議長に藤浦議員と副議長に佐藤議員（民進党）が選出されました。

また、任期後半 2 年間の各常任委員会の所属変更が行われました。

私は、前半に引続き「経済建設常任委員会」に所属することになりました。

また、民進党会派から議会運営委員として「議会運営委員会」に出席することになり、互選により議会運営委員長に選ばれました。議会選出各種委員としては、飯塚地区消防組合議会議員・都市計画審議会委員に選出されました。

臨時議会の議案は、◎損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解（交通事故）◎専決処分の承認（飯塚市税条例の一部を改正する条例）、◎専決処分の承認（飯塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）、◎専決処分の承認（飯塚市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例）、◎固定資産評価員の選任につき議会の同意を求め、報告として、専決処分の報告（車両損傷事故に係る損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解）2 件が審議されました。

6 月定例市議会が開催されました。

平成 29 年 6 月 9 日から 29 日まで、6 月定例市議会が開催されました。

議案は、◎専決処分の承認（平成 29 年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算）、◎平成 29 年度飯塚市一般会計補正予算（1 号）、政策予算の為、予算特別委員会を設け審議が行われました。補正予算の金額は、12 億 8441 万 2 千円で補正後の予算総額は 632 億 2541 万 2 千円となります。◎給料月額を市長 10%、副市長・教育長・企業管理者 5%減額するための「飯塚市特別職の職員等の給料の支給の特例に関する条例」◎地方税法等の改正により配偶者控除適用の際の納税義務者所得要件が追加されたことに伴う「飯塚市税条例の一部を改正する条例」、◎市内の保育所・園の待機児童解消の為、市内保育所・園に保育士を確保するための「飯塚市保育士修学資金貸付金条例」（制定反対議員 17 名、賛成 10 名で否決）、◎長楽寺団地公営住宅建設工事 3 億 7319 万 5080 円で行うための「契約の締結（長楽寺団地公営住宅建設工事）」、◎開発帰属に伴う「市道路線の認定」、◎「公平委員会委員の選任につき議会の同意を求め、報告事項「専決処分の報告（市道上の車両損傷事故に係る損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解）」、その他 14 件の報告事項、議員提出議案 3 件が審議されました。

また、追加議案として、現在あります市長のみの資産公開に、副市長・教育長・企業管理者も加えるための「飯塚市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例」

保育士確保へ貸付金

5年以上勤務で返済免除

飯塚市は7月から、保育士を目指す学生に月2万円を貸し付ける制度を始める。市内の保育所に常勤保育士として5年間勤務すると約束した人が対象で、実際に5年以上働いた場合は返済を全額免除する。保育士を確保し、市内の特機児童の解消を目指す。

飯塚市方針

飯塚市には、実質的な特機児童が5月1日現在で85人いる。特機児童の解消は喫緊の課題だが、保育士が足りないのが現状だ。貸し付けの対象は、短大や大学など保育士の養成施設に在学し、卒業後は飯塚市内の認可保育所か認定こども園で、常勤保育士として少なくとも5年間勤務すると約束する人。卒業するまで月2万円の修学資金を無利子で貸し付ける。卒業後1年以内に市内の保育所などに就職した場合は返済を猶予し、5年以上勤務した場合は返済を免除する。県と同様の制度(貸付額は月5万円以内、県内

で5年間勤務の場合は免除)との併用もでき、合わせる月額最大で7万円の貸し付けを受けられる。

市は6月市議会に事業費1321万円を盛り込んだ補正予算案と条例案を提案する。福祉部特機児童対策担当の山本雅之次長は「特機児童の解消は地域の課題。ぜひ飯塚の保育施設に就業していただき、子どもの保育をお願いしたい」と話す。問い合わせは子育て支援課(0948・22・5500、内線1112)。(垣花昌弘)

子育て支援に力

飯塚市補正予算案

飯塚市は2日、12億8441万円の一般会計補正予算案を発表した。片峯誠市長が2月に就任後、初の本格予算。肉付け後の一般会計の総額は63.2億2541万円で、前年度当初予算より11.8%(8億9445.9万円)の大幅減となった。9日から始まる6月市議会に提案する。

大幅に減ったのは、新庁舎や小中一貫校の建設が一段落したのが大きいという。抑制気味の予算案について片峯市長は「今後の体育館の建て替えや市場移転などを考えた」と語った。補正予算案では子育て支援や教育に力を入れた。保

育士確保のための資金貸し付け事業のほか、保育士の負担を減らすため、地域の人材を雇用する経費の一部を助成する事業に1782万円を計上。小中学校への空調施設の整備に1億5130万円、音楽やスポーツの分野で著名な人を小中学校に講師として招く事業に300万円を盛り込んだ。(垣花昌弘)

2017年(平成29年)6月3日(土)

月 日 年 日

が提案されました。合わせて、市議会議員の資産公開を追加する修正案を民進党飯塚市議会派から提案を行い審議が行われました。

市議会議員の資産公開を提案

今回の6月定例会市議会に、現行の市長のみの資産公開に関する条例に、副市長・教育長・企業管理者の資産を公開するための「飯塚市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例」が提案されました。

提案の理由は、「市政運営の透明性や市政への市民の信頼性を高めるため」と説明がありました。

この提案を受けて、わたしたち飯塚市議会民進党会派の3人の議員で協議を重ねた結果、平成27年の12月定例会市議会でも議会議員の資産公開では廃止には、条例が制定されて30年が経過し、その間に、◎市の土木工事・建設工事等の入札に業者を市が指名して入札する指名競争入札制度から、入札に参加する条件を備えている業者が誰でもが入札に参加できる一般競争入札制度に変更。◎工事等の予定価格は非公開で入札を行っていたものを、予定価格と最低制限価格の事前公開することに致しました。

この結果、市議会議員の入札制度への介入が防止されることになりました。

資産公開の目的は、市議会議員が市の工事等の入札制度への不当な介入により資産を形成しているかどうかを監視するものであり、入札制度への市議会議員の介入が出来ない制度に変更したので、一定の役割を果たしたものとして賛成致しました。

この市議会議員の資産公開廃止については、市民の方々からいろいろなご意見を頂きましたが、今回、2月に行われた飯塚市長選挙で民進党が推薦した片峯市長が、市政運営の透明性と市民の皆さんの市政への信頼性を高めるため、法律に定めている市長の資産公開に加えて副市長・教育長・事業管理者まで公開することを提案されましたので、市議会・市議会議員に対する信頼性を高めるため、市議会議員も併せて追加して資産公開をする事を提案致しました。

その結果、賛成14名・反対13名（議長を除く27名中）と1名差で可決されました。

保育園入園希望の待機児童対策「飯塚市保育士修学資金貸付金条例」が否決されました。

保育園への入園を希望しても入れない待機児童対策として、保育士養成学校を対象に保育士資格取得後、市内の認可保育所等に就労して5年間働くことを条件に、月額2万円を2年間希望者に貸付け返済を免除する「飯塚市保育士修学資金貸付金条例」が提案されていましたが、賛成10名に対して、公明党議員4名を含む17名が反対し、否決されました。

（今回の条例については、先の3月定例会市議会の一般質問で、確実に飯塚市内の保育園に保育士を確保する方法として、千葉県流山市の「修学資金貸付金」条例を参考に、本

年度から福岡県が取組む月額5万円の修学資金貸付金制度と合わせて制度導入を考えるように提案していました。)

私たち民進党の3名は議案に賛成致しました。また、賛成討論を行いました。

今回の条例提案は、保育士を飯塚市内の保育所・保育園に就職して頂いて、待機児童の解消を目的としたものと思います。

厚生労働省は平成27年1月14日に「保育士の確保プラン」公表しています。また、保育士の処遇改善については、平成24年度から処遇改善等加算を実施し平成24年度から平成25年度では約3%月額約9000円のアップ、平成26年度では約5%月額約15000円のアップ、平成27年度では約7%月額約21000円のアップ、平成28年度では約8%月額26000円のアップ、平成29年度では約10%月額32000円のアップと最大4万円を上乗せする対応を行っています。しかし、保育士が確保できていないのが現状です。

今回の条例の施行の結果は、来年の4月以降にしか目にすることが出来ませんが、待機児童対策を、国・県の対策を待っていても解決はしないと考えます。

例えば今年から県が導入する県の修学資金貸付金制度は飯塚市の保育所・保育園の就労にかぎっていないからです。

国は全国一律、県は全県一律の考えで待機児童対策を考えています。

今回の条例では、飯塚市の保育所・保育園に就労することを目的としています。

その意味では、市内に保育士を確保し待機児童解消に取り組む姿勢を明確にしています。

私は、議案質疑の中でこの条例が制定されたならば、運用の在り方について考えて頂きたいと要望致しましたが、私自身は、市民を対象に、市内の保育士養成施設に修学し、市内の民間保育園に就労することを条件に、保育士を確保し、待機児童対策とするべきと考えています。

しかし、市が待機児童対策に対する取り組みを進めることについては賛成します。

働く意欲のある人たちが安心して働ける社会環境を整えることは少子高齢化の社会が進む中では大切なことであると考えています。以上、賛成討論を致しました。

2017年(平成29年)6月30日(金)

専月

日

薬斤

辰巳

**貸付金条例案
市議会で否決**
保育士確保効果に疑問

飯塚市議会は29日の最終本会議で、保育士をめざす学生に月2万円を貸し付ける制度を創設する条例案を、賛成少数で否決した。2月に就任した片峯誠市長の重要事業で、保育士を確保し、待機児童を解消するのが目的だった。片峯市政での議案の否決は初めて。

条例は、市内の保育所に常勤保育士として5年間勤務すると約束した人を対象とし、5年以上働いた場合は返済を全額免除するという内容だった。だが、議員からは、効果への疑問や返済されないことへの懸念、保育士の処遇改善を求める意見が出ていた。

市議会はこの日、片峯市長就任後初めての本格予算となる総額12億8441万円の一般会計補正予算案などを可決し、閉会した。

(垣花昌弘)

「第2次飯塚市文化振興マスタープラン」に 関連して（市民芸術文化交流館設立）一般質問

昨年の12月定例会市議会で、（仮称）市民芸術文化交流館設立に関して一般質問を行いました。今年3月に飯塚市の第2次文化振興マスタープランが策定されたので、再度、（仮称）市民芸術文化交流館設立について一般質問を致しました。

質問 平成29年3月策定の「第2次飯塚市文化振興マスタープラン」の第1章に国の「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次基本方針）」も踏まえ、現状を再分析し、新たな方向性を示すため、策定するものです。とありますが、国の方針とはどのようなものですか。

答弁 国は平成27年度から32年度までを対象に「社会を挙げての文化芸術振興」で重点的に取り組むべき施策の中で、1、文化芸術活動に対する効果的な支援・2、文化芸術を創造し、支える人材の充実及び子どもや若者を対象とした文化芸術振興策の充実・3、文化芸術の次世代への確実な継承、地域振興等への活用・4、国内外の文化的多様性や総理解の促進・5、文化芸術振興のための体制整備を掲げている。

質問 昨年の12月定例会市議会で「文化芸術の振興について」の一般質問を行いました。その際に確認を致しませんでした。現在、市が所蔵する、書、絵画、写真、彫塑工芸はあるのか、無いのか、あるとすれば、各何点なのか。また、その保管についてはどうなっているのか。これまで、それぞれの作品を市民にどのように展示し鑑賞の機会を与えてきたのですか。

答弁 歴史資料館に、書22点、絵画658点、写真704点、彫塑0点、工芸53点。その他の施設に書50点、絵画154点、写真2点、はく製等その他52点を展示・収蔵している。保管・収蔵・展示は常温で行っている。展示は公の施設においてそれぞれ展示し施設利用者に鑑賞してもらっている。今後は新市庁舎の多目的ホール等を活用し鑑賞機会の提供を図っていきたいと考えている。

質問 市の所蔵している作品について、その作品、その所蔵経過、その作者紹介等がインターネット上で検索が可能ですか。

答弁 検索はできない。アーカイブによる保存を検討しているが経費が掛かるので国へ要望している。

質問 昨年の8月の広報いづくかに「飯塚市美術店作品募集」とありました。10月21日（金）22日（土）にイイツカコスモスコモンまで作品を持参してください。とありました。その結果はどうなったのでしょうか。

答弁 第49回飯塚市美術展開催のため作品を公募し、書55点、絵画48点、写真20点、彫塑工芸6点の合計129点の応募があり、全ての作品を市美術展として展示し1428

人が鑑賞した。

質問 昨年、「(仮称) 飯塚市民芸術文化交流館」を設立する要望書について質問いたしました。その際の答弁では、この要望書についての対応は「あくまでも主体は教育委員会にあるというふうに認識しております。」としながらも関係各所の協議が必要である。とのことであったと理解していますが、その後、この要望書についての検討はどのように行われたのでしょうか。

答弁 設立の要望は 4 月に入っても申し出があったので、公の施設の利活用の可能性、運営の実効性について継続して検討している。

質問 国の「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第 4 次基本方針)」の中に、「第 3、文化芸術振興に関する基本的な施策」を講じるとして、「9、文化芸術拠点の充実等」、「(3) 地域における文化芸術活動の場の充実」とあり、「学校教育に利用される見込みのない教室や廃校施設については、様々な用途への転用が可能となっていることを踏まえ、地域の芸術家、文化芸術団体、住民等の公演・展示や練習の場として、また、文化芸術作品等の保存場所としての利用を促進する。」となっていますが、市内で使用を止める学校で耐震対策を行っている学校はどこがありますか。

答弁 楽市小学校があります。

質問 「(仮称) 飯塚市民芸術文化交流館」の設立の要望書にある趣旨、運営方針等は、「飯塚市文化振興マスタープランの策定にあたって」の策定の趣旨に沿っていると考えますが、如何ですか。

答弁 提案の主旨、方向性は、飯塚市の文化振興マスタープランに共通するものと考えている。

質問 市長にお尋ねいたしますが。昨年 12 月の質問の際には、「(仮称) 飯塚市民芸術文化交流館」の設立要望について、教育部長は「教育委員会だけでの独断で進めるわけにはまいりませんので」、との答弁でありました。市長は教育長を経験して、今回の「飯塚市文化振興マスタープラン」冒頭にはじめの言葉を述べていますが、市長としてのこの要望についての見解と今後の取り組みについての考えを示して頂きたいと思いますが、如何でしょうか。

答弁(市長) 本市は人口減少や少子高齢化、厳しい財政状況など多くの課題を抱えているが、価値ある地域資産も豊富に存在しており、その資源を最大限に活用し、「市民の皆様が故郷をほこることのできるまちづくり」を目指し、「子どもの未来を開く教育のまち」、「高齢者が大切にされ活躍できる福祉のまち」、「地元で働く場所があり活力のあるまち」、「文化やスポーツが盛んな健康なまち」をまちづくりの主眼に置き、積極的に施策を展開していく。文化事業の支援、後継者育成などの方向性を重視している今回の要望書の趣旨と、わたしの考えは合致しており、文化活動拠点の整備について十分検討を進めていく必要があると考えている。

経済建設委員会報告

平成 29 年 6 月 21 日に開催されました経済建設委員会で、「立岩踏切及び新飯塚駅前に接続する市道の安全対策」について所管事務調査を行いました。

以前から立岩踏切の拡幅について取組むように要望をしていますが、歩行者の安全を図るため仮歩道を設けると J R 九州と協議しているとのことであったが、その後の進捗状況はどうなっているのか。

関連して、平成 29 年度内に完成予定の J R 筑豊本線を跨ぐ笠松陸橋の歩道整備工事に合わせて J R 新飯塚駅東口の一方通行の道路が双方通行可能な道路として改良されるが、立岩小学校の通学路もあり改良後の歩行者の安全確保はどうなっているのか。

また、将来的に立岩踏切とこの改良される道路との間の道路の拡幅についてはどう考えているのか質しました。

これに対し、平成 27 年 12 月 14 日の委員会において立岩踏切の歩行者の安全確保を優先した仮歩道設置について J R 九州と協議を進めると答弁をしています。その後、J R 九州との協議では、事故防止対策の必要性の高い踏切であることは認識しているが、今年度の J R 踏切改良事業としての決定に至っていない、平成 30 年度の事業決定に向けて、市の予算確保、J R 九州との協議を引続き進める。

国土交通省北九州国道事務所では、地元自治会、企業、周辺の小・中・高校、大学に対して側道整備について事前説明を行い、完成後に通学路の見直しをする事に成っているが、供用開始に伴い側道橋が通学路として利用されることになるのではないかと考えている。

交互通行に向けた道路整備では、歩行者の動線を踏まえて安全対策を検討していく。

立岩踏切と笠松陸橋下を結ぶ市道の考え方については、現在の状況をみてみると道路幅員が 4m 程度で車両は互いに譲り合いながら離合しているが、相互通行への道路整備

後の交通量等の状況を踏まえて検討していきたい。以上の答弁がありました。

J R 新飯塚駅東口の開発が進み多くの人たちが居住することになれば、歩行者・車両交通量は増加していくと考えますので、安全確保のため周辺の道路整備に取り組むよう要望致しました。



JR 新飯塚駅東口から笠松陸橋下を通り飯塚高校へ通じる幅員約 4m の市道